

選出当員5人 候補者



速報版

錦城高等学校新聞委員会 編集室 2020

345号 生徒会選挙特別号

放送演説会・生徒会選挙が行われ、錦城を牽引していく代表者が決まりました

感染対策の上で選挙実施

11月4日(水)の6時間目に放送演説会・生徒会選挙がさまざまな感染対策をした上で行われた。今年には決選投票がなく、5つの役職全てが信任投票。また投票には、実際の選挙で使用されている投票箱が用いられた。



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各クラスに一つずつ投票箱が置かれ、投票が行われた

例年の生徒会選挙は、体育館に全校生徒が集まり、立候補者の演説を直接聞いて行われる。今年は新型コロナウイルス感染対策のため、放送での実施となった。各クラス教室での投票になったため、例年より多い37箱の投票箱が小平市から貸し出された。

「コロナ禍での開催」

例年の生徒会選挙は、体育館に全校生徒が集まり、立候補者の演説を直接聞いて行われる。今年は新型コロナウイルス感染対策のため、放送での実施となった。各クラス教室での投票になったため、例年より多い37箱の投票箱が小平市から貸し出された。

- 【今回の立候補者】
- ① 生徒会長候補 中村心咲さん(2F) 信任票・1402票
 - ② 生徒会副会長候補 藤田和望くん(1E) 信任票・1418票
 - ③ 監査委員長候補 大久保摩美さん(2E) 信任票・1419票
 - ④ 監査副委員長候補 長岡胡桃さん(1L) 信任票・1408票
 - ⑤ 錦城祭実行委員長候補 長屋碧さん(1D) 信任票・1418票
- 有効票数・1433票

錦城のため決意を語る

① 時折ユニークな表現を交えて演説を行った生徒会長候補の中村さん。公約は2つあり、1つ目にセブン自販機の設置を挙げた。理由については中村さんは「昼食時のお惣菜争奪戦に敗北した人の助けや自習をする人のお供など、生徒全員の役に立てたい」と思っています。2つ目は行事の携帯・スマホ使用ルールの見直し。これについては「先生にばねなければ大丈夫」というようにルールを破っている現実を遠のきます」と現存のルールも守っていくように呼びかけた。

② 錦城の規則を「私立高校」ということを考慮しても前時代的なもの」と批判した生徒会副会長候補の藤田くん。「より過ごしやすい錦城をつくるために生徒会運営に直接関わりたい」と思い、立候補を決意したそうだ。藤田くんは公約を2つ掲げた。1つは生徒会会則の改正、もう1つは錦城の校内規則の見直しだ。前期に生徒会会則改正特別委員会として活動していた経緯をもとに、改正の余地がある会則を直したいと意気込んだ。



放送演説に静かに耳を傾ける錦城生

③ 「前回監査副委員長を務めた中で、できたこと、できなかったことなどを活かして皆さんの学校生活を充実させていきたいです」と立候補の理由を語る大久保さん。当選したら、意見箱に寄せられた生徒の声を少しでも多く実現させていきたいそう。また、意見箱の設置場所や仕組みを錦城生に周知できるように、生徒会報を使って伝えていきたいと話す。最後に「積極的に意見を出して頑張っていきたいです。よろしくお願いします」と締めくくった。

④ 長岡さんが立候補したのは、錦城高校新聞や生徒会報を通じ、生徒会本部がより良い錦城のために尽力しているのを知ったことがきっかけだ。自分も同じように、錦城のために力を尽くしたいと思っただけだ。

⑤ 今年度の錦城祭を開催することが出来なかった悔しさをばねに、来年は思いきりはじめたい」と錦城祭実行委員長に立候補した長屋さん。「来年の錦城祭は、新型コロナウイルスに打ち勝った証として開催したいです」と話す。また、自ら皆の意見や思いを聞いて、引っ張っていける実行委員長を目指すという。最後に「来年は2年分の楽しみが詰まった錦城祭にしたいです。一緒に一生の思い出にしましょう」と生徒に向けて意気込みを語った。



「これからも生徒会から目を離さないでください」

今期生徒会へのメッセージ

代替わりを受け、前生徒会長の橋本太朗くん(3A)は、今期の生徒会に対して「こう変えたい」という意見についてアイデアを出し、先生としっかり話し合ってほしいです」と話す。今後は一生徒として、